

トルコ為替週報

2023年6月6日 | みずほ銀行欧州資金部

＜過去1週間の動き＞

(5月31日～6月5日)

USD/TRY: 20.1045～21.2655

TRY/JPY: 6.51～6.97 (参照値)

過去1週間のトルコ・リラ相場は大幅に下落。連日のように史上最安値を更新し続けており、6月5日には対ドル21.0を超えて減価している。5月28日に行われた大統領選決選投票以降の対ドル下落率は6%に達している。これまでの週報でも述べているように、これは選挙結果自体に対する市場の反応というよりも、選挙前にリラの下落を抑えるために行われていたと見られる為替介入やオフショア市場へのリラの流動性供給の抑制などの政策が徐々に緩和されつつあることを反映しているだろう。もっとも、ここまでリラの下落スピードが速いのは信用拡張や金融緩和に依存する政策が招いた面が大きい。選挙が終わった今、政策の修正が図られるかがリラ相場を見極めるうえで重要である状況に変わりがない。

焦点となっていた閣僚人事では6月2日にシムシェキ元財務相が復帰する見込みであることが報じられた。週末の6月3日にはエルドアン大統領から正式に閣僚人事が発表されている。シムシェキ氏は米系の投資銀行でエコノミストを務めた経験があり、トルコ政府に転じてからは副首相や財務相といった要職を歴任した。シムシェキ氏はトルコの経済発展に貢献するとともに財政規律を重視し、トルコ中銀の独立性を尊重する姿勢を示していた。2018年の大統領選挙後にシムシェキ氏が閣外に去り、エルドアン大統領が娘婿のアルバイラク氏を財務相に就任させたことが、同年8月のリラ急落の一因となったと見られる。シムシェキ氏の財務相復帰は、市場の信認を取り戻すためには理想的な選任と言えよう。また、トルコ市場ではトルコ中央銀行総裁の交代の可能性も取りざたされており、こちらも政策転換の有無を見極めるうえで重要だ。米系の金融機関で長いキャリアを持つハフィズ・ゲイ・エルカン氏とシムシェキ氏が6月5日に面会したとブルームバーグが報じている。ハフィズ氏は中銀総裁候補として名前が浮上している人物であり、実現すればトルコ中銀初の女性の総裁となる。彼女のキャリアからして、「マーケット重視」というメッセージとなろう。経済指標では、2023年1～3月期の実質GDP成長率や5月分のCPIが発表された。国内の需要の強さを反映する形で1～3月期のGDPは前年同期比+4.0%と10～12月期の同+3.5%から加速した。一方、5月分のCPIは前年同月比+39.59%と4月分の同+43.68%から減速。エルドアン大統領が選挙前に実施したガス無料化の影響が大きい。もっとも需要の強さや公約としている最低賃金の大幅引き上げを考慮すれば、インフレ圧力が強い状況は継続するだろう。＜過去1週間に発表された主要経済指標等＞

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
5/31	08:00	実質GDP(前年比)	Q1	3.5%	4%	3.5%
6/1	08:00	製造業PMI	5月		51.5	51.5
6/5	08:00	CPI(前年比)	5月	39.2%	39.59%	43.68%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

＜向こう1週間の見通し＞

(6月6日～6月12日)

USD/TRY: 21.00～22.00

TRY/JPY: 5.90～6.80

来週1週間のリラ相場は続落すると見られる。リラは選挙後にほぼ一貫して下落が続いており下げ止まる兆しは見えない。もっとも、先週はグランドバザールでのリラの対ドル交換レートと、インターバンクのレートが接近をしている点は、必要な調整が進みつつあることを示唆している可能性があるだろう。引き続き、選挙後に金融・財政政策がより正統派ないしマーケット重視の方向に修正されるかが重要であり、上述したトルコ中銀総裁の交代の可能性を意識した展開となろう。

＜向こう1週間に発表予定の主要経済指標等＞

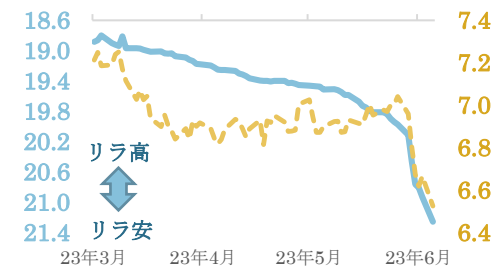
月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
6/9	08:00	鉱工業生産(前年比)	4月	0.8%		-0.1%
6/12	08:00	経常収支(10億ドル)	4月			-4.48b
6/12	08:00	失業率	4月			10%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

トルコ・リラの推移

実線: 対ドルレート(左軸、逆目盛)

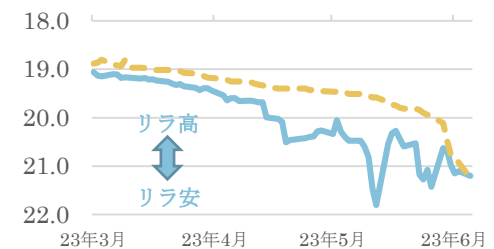
点線: 対円レート(右軸)



トルコ・リラの対ドル取引レート

点線: インターバンクレート

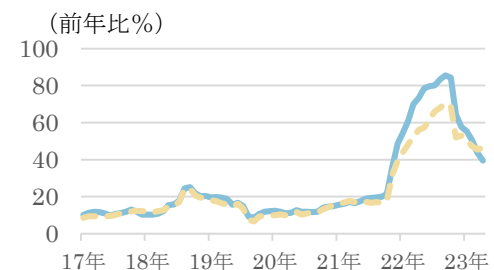
実線: グランド・バザールでの交換レート



トルコ 消費者物価指数 (CPI)

実線: ヘッドライン

点線: コア指数



(資料: ブルームバーグ)

＜文責＞

欧州資金部

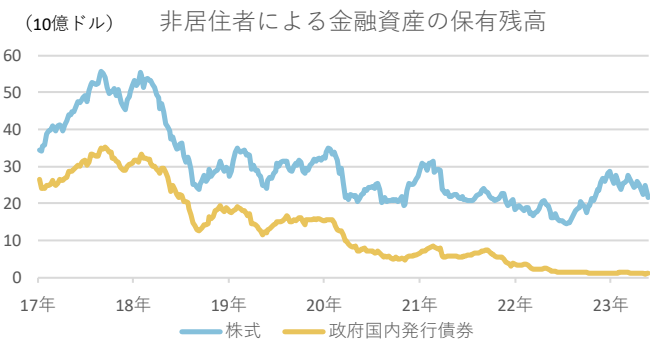
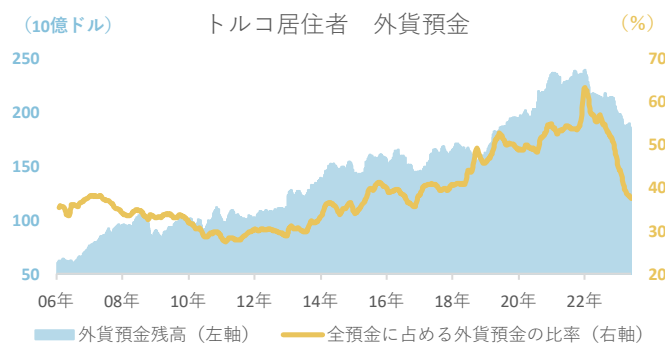
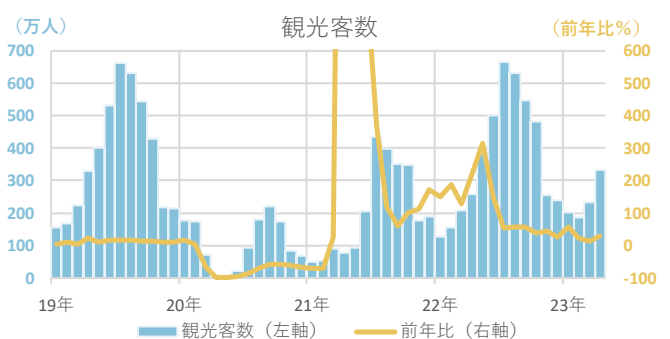
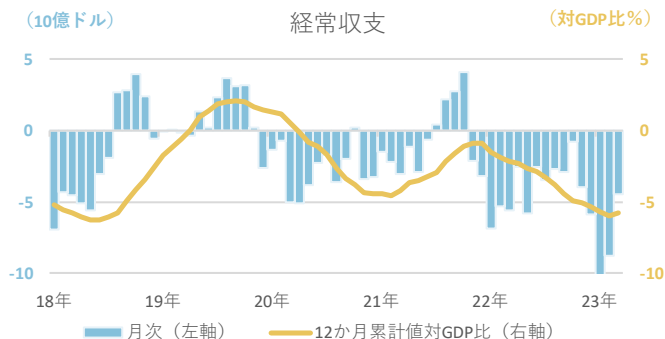
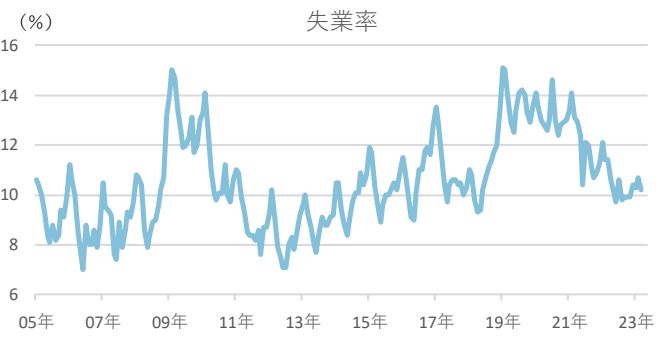
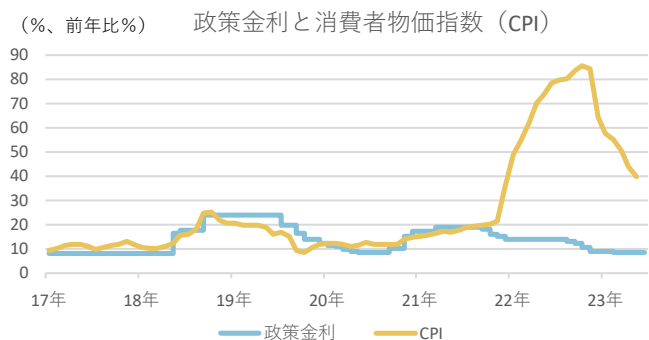
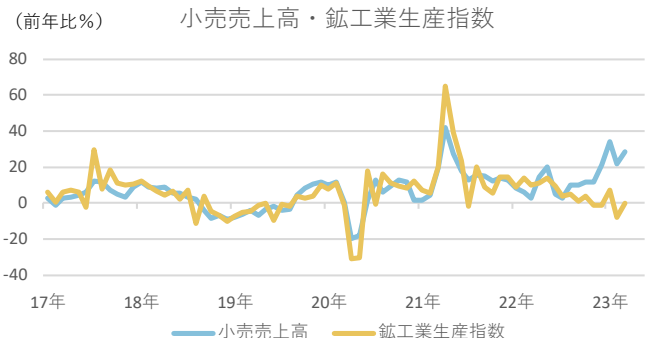
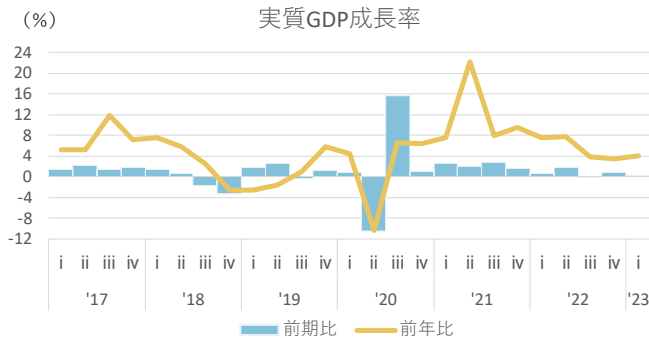
シニア為替ストラテジスト

中島 将行

masayuki.nakajima@mhcb.co.uk

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

<主要経済指標の推移>



(資料：トルコ中央銀行/トルコ統計局/ブルームバーグ/みずほ銀行)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。